

2024年3月期第1四半期 決算短信補足説明資料



証券コード4389

2023年8月7日

(2023年4月～2023年6月)

2024年3月期第1四半期決算概要

売上高は前期比+13.4%、営業利益は前期比△21.4%

当期は特別利益（負ののれん発生益）が発生しないため四半期純利益が大幅に減少

売上高

580百万円

(前年同期比+13.4%)

経常
利益

52百万円

(前年同期比△21.9%)

営業
利益

52百万円

(前年同期比△21.4%)

四半期
純利益

34百万円

(前年同期比△66.3%)

※ 百万円未満切捨て

2024年3月期 事業計画

プロパティデータバンク



■「@プロパティ」の安定拡大

- ソリューションサービスでのBPR案件による案件大型化を継続
- クラウドサービスはERP提案による案件大型化を目指す
- 一般事業会社への提案を拡大

新規サービス

■新規サービスの開発に着手中

- 新サービスを複数開発中
 - Speed ANSWER for Web（仮称）の開発
 - DXプラットフォームの開発
- @knowledgeを今夏に全面リニューアル
- BIMは事業化を推進

2024年3月期 第1四半期 トピックス

プロパティデータバンク



■「@プロパティ」の安定拡大

- ソリューションサービスでのBPR案件による大型案件を一般事業会社から受注

新規サービス

■新規サービスの開始

- 6/26 文書管理BPO事業開始をリリース
7/10 KJRM社より受注を獲得。
- 8/7 @コマースの新規事業開始をリリース

2024年3月期 事業計画

プロパティデータテクノス

文書管理ソリューション

- 不動産関連文書のデジタル化サービスを拡大
- 文書管理ソリューションの提案拡大
- BPO事業に進出

※BPO（Business Process Outsourcing）業務プロセスの一部を、企画・設計から実施までを一括して専門業者に外部委託すること

プロパティデータサイエンス



- 「Speed ANSWER（スピードアンサー）」を店舗の出店段階から、出店後の運営管理まで担う総合店舗運営管理サービスに転換し、拡販に注力する

2024年3月期 第1四半期 トピックス

プロパティデータテクノス

文書管理ソリューション

- 文書管理サービス、文書管理BPOサービスの拡大のための基盤整備進む
- 文書管理サービスでは長期の案件を受注

※BPO（Business Process Outsourcing）業務プロセスの一部を、企画・設計から実施までを一括して専門業者に外部委託すること

プロパティデータサイエンス



- 5/31 100%子会社化完了

売上高は前期比+13.4%、営業利益は前期比△21.4%

- ・売上高拡大の最大の要因は、前期連結対象外であったプロパティデータテクノス社が、今期は連結対象となったため。
- ・クラウドサービス事業は順調に拡大。ソリューションサービスの立ち上がりが遅いが、想定内。

(単位：百万円)		2023年3月期 1Q 実績（連結）	2024年3月期 1Q 実績（連結）	前期比
売上高（連結）		511	580	+13.4%
プロパティデータバンク	クラウドサービス	361	404	+12.1%
	ソリューションサービス	148	118	△20.4%
プロパティデータテクノス		—	52	—
プロパティデータサイエンス		3	4	+54.5%
営業利益		67	52	△21.4%
経常利益		66	52	△21.9%
親会社株主に帰属する四半期純利益		103	34	△66.3%

※ 百万円未満切捨て ※ 内部取引消去前

進捗率は低いが、ほぼ前年並み。第1四半期の進捗としてはほぼ計画通り。

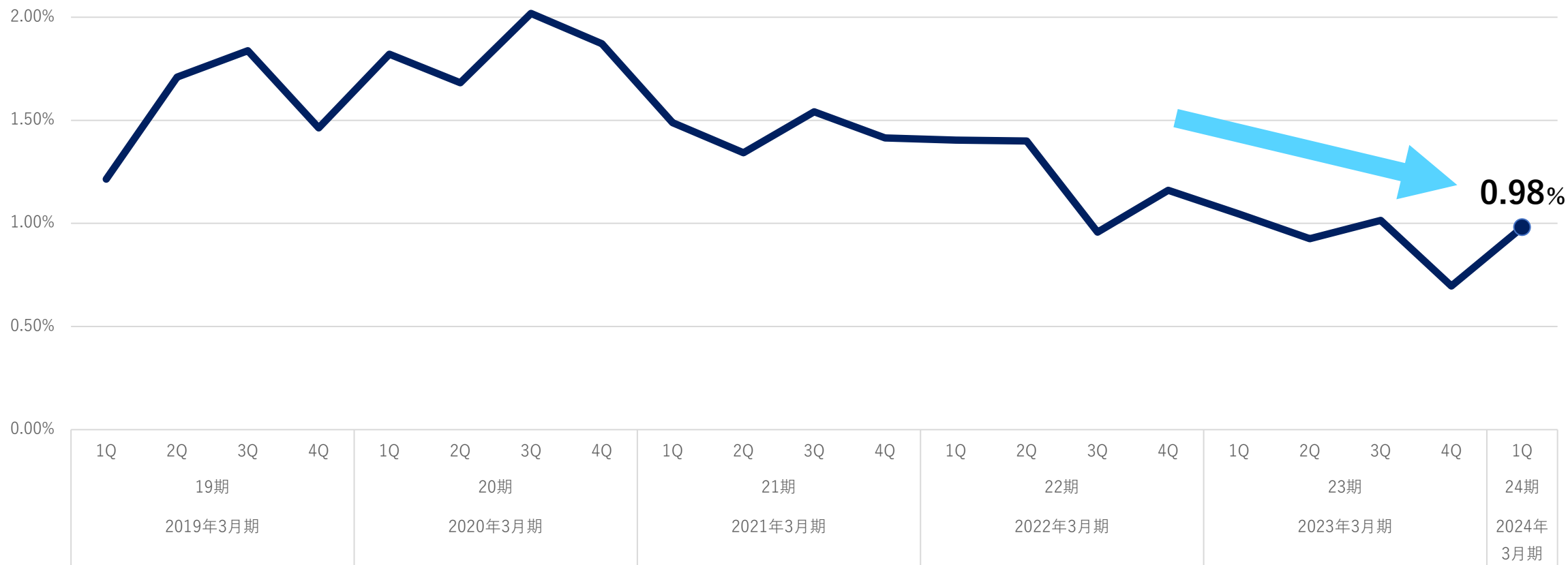
- ・ 今期の進捗率は、クラウドサービスは前年並み。ソリューションサービスの進捗率は前年比より遅いが、想定内。
- ・ 子会社2社の進捗率に関しても想定内。

(単位：百万円)		2024年3月期 1Q 実績	2024年3月期 通期計画 計画	進捗率
売上高（連結）		580	3,420	17.0%
プロパティデータバンク	クラウドサービス	404	1,680	24.1%
	ソリューションサービス	118	1,240	9.5%
プロパティデータテクノス		52	300	17.5%
プロパティデータサイエンス		4	200	2.4%
営業利益		52	822	6.4%
経常利益		52	822	6.3%
親会社株主に帰属する当期純利益		34	559	6.2%

※ 百万円未満切捨て ※ 内部取引消去前

解約率は低下傾向、2024年3月期第1四半期は0.98%

@プロパティ 解約率



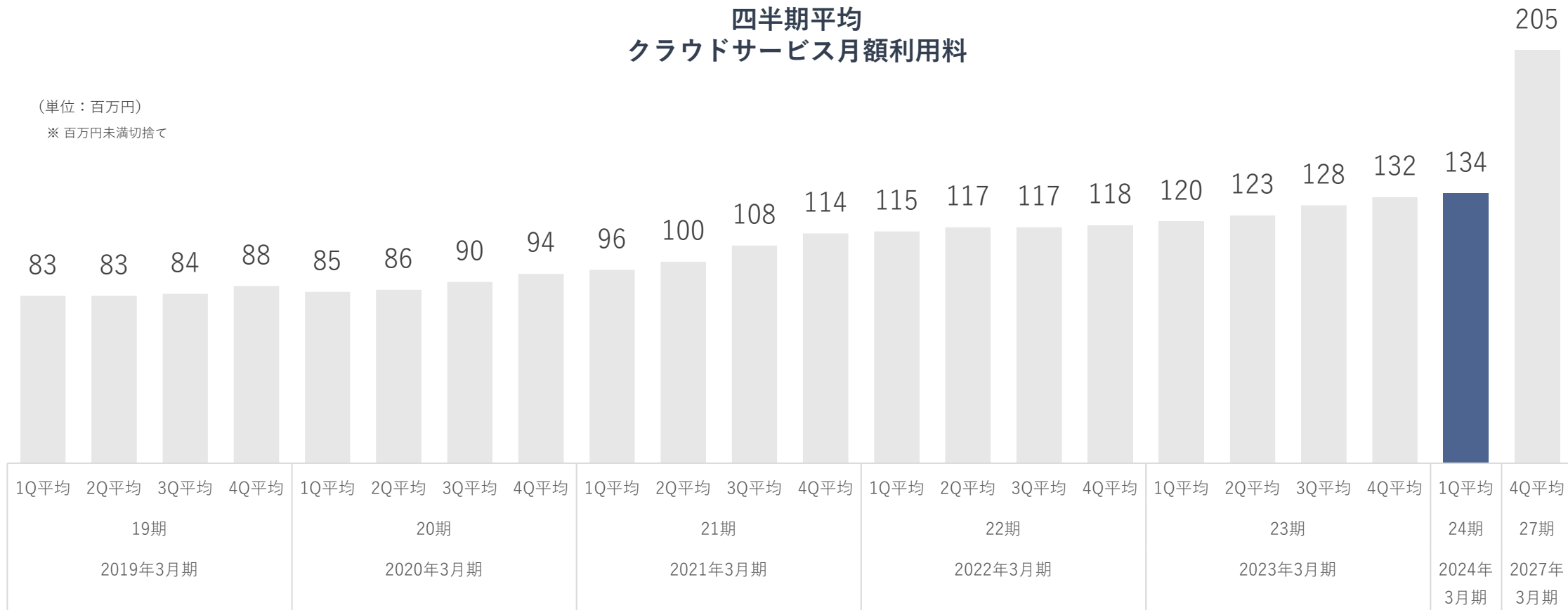
クラウドサービス月額利用料（Q平均）

クラウドサービス月額利用料は既存顧客のストック部分に加え新規顧客の獲得により着実に増加

四半期平均
クラウドサービス月額利用料

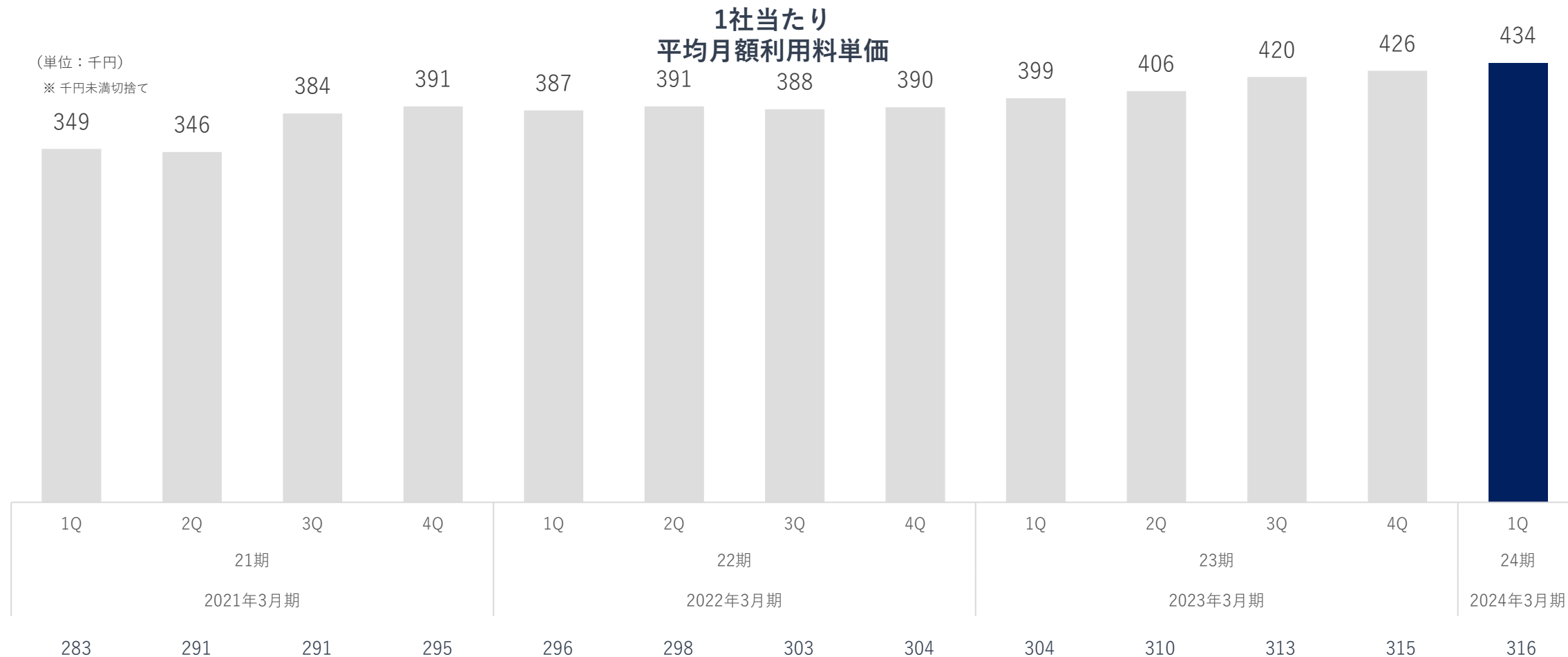
(単位：百万円)

※ 百万円未満切捨て



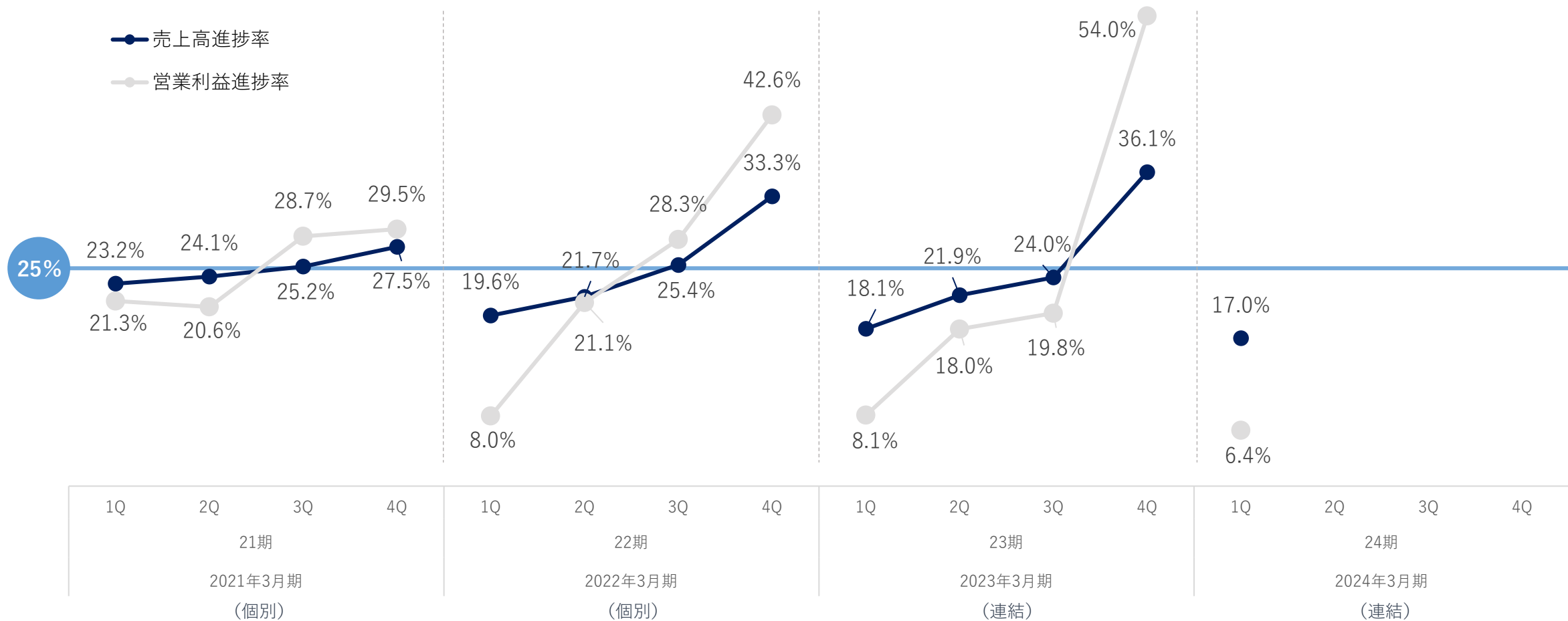
1社当たりのクラウドサービス月額利用料単価

1社当たりの平均月額利用料単価は、鉄道会社グループを中心とする一般事業法人の大口案件獲得により前年同期比+35千円(8.9%増)



第1四半期の進捗率の低さは、前年度、前々年度とほぼ同等。

- ・ 22/3期以降、第4四半期に偏る傾向が顕著だが、要因はソリューションサービスの拡大
- ・ 今期も社内計画としては下期偏重となっている



2024年3月期 事業計画

プロパティデータバンク



■「@プロパティ」の安定拡大

- ソリューションサービスでのBPR案件による案件大型化を継続
- クラウドサービスはERP提案による案件大型化を目指す
- 一般事業会社への提案を拡大

新規サービス

■新規サービスの開発に着手中

- 新サービスを複数開発中
 - Speed ANSWER for Web（仮称）の開発
 - DXプラットフォームの開発
- @knowledgeを今夏に全面リニューアル
- BIMは事業化を推進

2024年3月期 第2四半期以降の取り組み

プロパティデータバンク



■「@プロパティ」の安定拡大

- 財務関連のリニューアル（今秋）
- 引き続き一般事業会社へのBPR提案を継続

新規サービス

■新規サービスの開始

- @コマースのサービス開始に伴う営業強化
- DXプラットフォームの開発を促進
- @knowledgeを今秋に全面リニューアル
- BIMの新規受注獲得を予定

2024年3月期 事業計画

プロパティデータテクノス

文書管理ソリューション

- 不動産関連文書のデジタル化サービスを拡大
- 文書管理ソリューションの提案拡大
- BPO事業に進出

※BPO（Business Process Outsourcing）業務プロセスの一部を、企画・設計から実施までを一括して専門業者に外部委託すること

プロパティデータサイエンス



- 「Speed ANSWER（スピードアンサー）」を店舗の出店段階から、出店後の運営管理まで担う総合店舗運営管理サービスに転換し、拡販に注力する

2024年3月期 第2四半期以降の取り組み

プロパティデータテクノス

文書管理ソリューション

- 文書管理サービスの受託拡大に向け営業強化及び採用強化
- プロパティデータバンク社との協業推進に向けて取り組み強化

プロパティデータサイエンス



- Speed ANSWERは受注見込み数件あり



IR に関するお問合せ
IR担当: 03-5777-3468
メール: PDB_IRinquiries@propertydbk.com

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等様々な要因により、実際の業績は言及または記述されてる将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。